

661-3348

新刊
ため
に
は
い
え
ん
の
た
め
に
は
い
え
ん

第6号

工元

新任のあいさつにかえて

キャンプ・井田 勝

9月1日の人事移動で、皆様と一語に野外活動の仕事をする事になりました、井田です。

よろしく、お願いします。

私は、長野県上諏訪で生まれ、後東京に移り関東大震災に会い、3才から名古屋で人生の大半を送り、昭和47年愛知郡長久手町に新居を構えました。現在は、単身赴任で王滝の職員宿舎に住み、月に1回ぐらい長久手へ帰ります。身長165cm 体重65kgで 色の黒い中肉中背といったところです。

略歴は、昭和15年から20年まで中国大陆、比島などで、命をさらしながら「斬り込み」もした軍隊生活、昭和21年から49年まで名古屋市職員(主として、経済(戦後の生活物資配給)庶務、総計選挙、農政、税務、社会教育、などの行政事務に従事し、昨年9月当公社管理課へ、そして、本年9月から野外活動課です。

趣味として今がけたことは、スポーツ、囲碁、園芸、などで変わった所では、野生馬(蒙古馬)の調教です。

さて、本題の51年度キャンプの方針についてですが、結論から申しますと、今まで同様教育キャンプです。内容については3年間の経験を生かしより充実を図る。

休暇村で行なっている教育キャンプは、学校教育のように、決めた学校の教育課程を先生が学生、生徒に教育するのでなく、キャンプ場という社会教育施設で、キャンプに必要な知識技術や、体育、レクリエーション、あるいは、立地条件に合った自然との接触あいや観察など、キャン

パーの希望を取り入れたプログラムによって組織的に指導をする、供
すれば、社会教育活動を行なっているのです。カウンセラーは自然とのパイ
プ役であり、指導者、講師であります。したがって、これに、必要な知識、
技術の修得に努めるとともに、日常生活の規律、清潔、整頓、身だしなみは
身をもって範を示し、無言の指導をする。

このようにして内容の充実を図るのも一方法だと思います。

今、各テント、キャビンの“思い出の記”を読みました。1、2の注文
はありますが90%以上のキャンパーが適切な指導に感謝し、来年も来たい
とか、名古屋で会いたいとか満足して帰っています。皆様の誠意が努力が通
じたものと喜んでいきます。

最後に今後の活動を期待しております。「かうだ」に注意して頑張、て下
さい。

本キャンプをふりかえって

高橋 順一

近き生歩発展、現代社会において 野外活動に対する期待、
して、人間疎外といった社会の中で 野外活動に対する感心は年々高
まって来ている。我々は、こうした社会の期待、感心に報いるため野外活動を
推進するにあたり、休暇村キャンプ場の在り方を今一度、スタートにかえり、
見直さなければならない。3年目を経過した中で前仲野キープの下に、パター
ン路線が確立された。しかしそうした中でマンネリ化の気配を感じられた。そ
れは、キャンパーに対するカウンセリングの怠慢というカウンセラーを責め
る材料は何もない。これは、我々スタッフの考え方、指導性が甘かった事を
指している。確かに、反目云、縦会、秋期合宿でカウンセラーとの話し合い
があった。然し休暇村キャンプ場の利用者層の中の広さ、厚さ、こうした
背景で、カウンセリングの難しさを充分体験した。したが、ておのずからキャン
プ運営、キャンプ形態に関して思いきった策を行う必要がせまられて来た。
具体的には、今述べないが、スタッフ、カウンセラー自身が自覚しなければ
いけない。その中で、キャンプ場は「美しかった」「空気がおいしかった」な
どなく「よかった」だけでなく「何かをつかんだ」「感じた」と体得してい
ただけのようなキャンプ場にしたい。又即カウンセラーのいないキャンプ場な
て-----みたいだ田といわれるようにしたいものだ。

我 仲間へ

2chan

今年のキャンプも無事終り。カウンセラー諸君 本当にお礼がとう。
今、御座は、雪のシーズンを迎えている。もうすぐ、休暇村の回りすべ

雪が、霰（あられ）いつくしてスキーヤー達に最大の楽しみを与えてくれるだろう。俺も例外ではないよ。あの忙（いそ）がしかったキャンプ生活が終わると散（ち）散（さん）をしながら早く、来い、来い、お正月（しんがた）にならぬ早く、降（ふ）れ、降（ふ）れ、寒（さ）いさん（さん）といふ事になる。カウ（カウ）ンセ（ン）ー諸（しよ）君（きん）も、スキーやる人には俺の気持ち（きもち）理（り）解（かい）してくれよな——。本格的（ほんかくてき）に始めたのが先（せん）シーズン、今年は2年目（にねんめ）。2年目（にねんめ）でこんなだから先（せん）が思いやられるよまったく。ウン

反省文（はんしやうぶん）として書いて下さいとの事、今回は、非常に書きたくなかったんだ。なぜなら、俺にとって今年のキャンプほど自分自身（みづかみ）のながち遇（あ）った年は無（な）かった。3年目（さんねんめ）という壁（かべ）を打ち破（やぶ）ろうと考え、もがき、結果（けつが）的に、行動（こうどう）に移（い）わなくて何が、キャンプ利（り）便（べん）のどこか、悪い（わるい）のかを見つける事が出来ず、悩（なや）んで焦（こ）って、排（はい）他（た）的（てき）にな（な）って終（お）わ（わ）ってしまったシーズンであ（あ）った。指導（しうどう）員（ぎん）として、諸（しよ）君（きん）に何を指導（しうどう）出来（で）たのであ（あ）ろうか、今（いま）、考（かん）えてみても何（なに）もな（な）かった。来（き）シーズンには、何（なに）とかしなくっちゃね。し（し）る前に充（み）分（ぶん）自（じ）分（ぶん）を、キャン（キャン）プ、見（み）つめ直（な）してかえ（かえ）るよ！

さて、話（わ）しは変わりますが、先日、ダメオ（ダメオ）氏の結婚（けっこん）式（しき）に出（い）席（しやく）して、本（ほん）当（たう）にダメオ（ダメオ）氏は幸（さい）せ者（しや）だと思（おも）ったよ。戸（と）ソ（ソ）リヤ、あ（あ）たりま（ま）えだ。結婚（けっこん）式（しき）に幸（さい）せで整（ととの）えてどうする！ 口（く）か（か）って。ウン、俺（おれ）の言（い）いた（た）いのは、この結婚（けっこん）式（しき）で仲（な）間のすばらしさ、あ（あ）た（た）た（た）か（か）さを、す（す）ご（ご）——く感（かん）じ（じ）た（た）んだ。あ（あ）んなすば（す）らしい仲（な）間（かん）達（だ）に囲（かこ）まれて結婚（けっこん）で（で）きる（き）る（き）る）なんて、本（ほん）当（たう）に幸（さい）せ者（しや）だ（だ）す。これ（こ）れも、仲（な）間（かん）を大（だい）切（せき）にする、ダメオ（ダメオ）氏（し）だ（だ）からこ（こ）そ（そ）と思（おも）った。あ（あ）うた（た）め（め）に仲（な）間（かん）の大（だい）切（せき）さを教（おし）え（え）ろ（ろ）れた（た）よう（う）な（な）氣（き）が（が）する（す）。

我（われ）々（々）も仲（な）間（かん）である。同（どう）じキャン（キャン）プ（プ）を（を）する仲（な）間（かん）である。今（いま）年（ねん）の極（きよく）み、甚（し）し（し）お（お）が仲（な）間（かん）達（だ）によ（よ）って少（す）しずつ取（と）り（と）ろ（ろ）れ（れ）て行（い）くた（た）ら（ら）うし又（また）より良（よ）いキャン（キャン）プ（プ）を創（つく）り（り）上（あ）げ（げ）て行（い）くた（た）ら（ら）うと信（しん）ず（ず）る。今（いま）年（ねん）、俺（おれ）が悩（なや）んだ事（こと）の糸（いと）口（く）が（が）見（み）つ（つ）か（か）った（た）よう（う）な（な）氣（き）が（が）した。だ（だ）か（か）ら（ら）すば（す）らしい仲（な）間（かん）を（を）作（つく）り（り）たい。キャン（キャン）パー（パー）——とい（い）う（う）すば（す）らしい仲（な）間（かん）を（を）

カウンセラーの皆さんへ

今井 由子

夏が過ぎ早や3ヶ月たちますが、75年 御岳キャンプ本当に御苦勞様でした。今年も又 あなた方それぞれの思い盡し キャンプインし キャンプアウトされたことと思います。

河の流れは、変らなくても 河を流れる水は常に変わっています。御岳キャンプも 三年間 河の流れは変らなくても、水の流れは変わってきているのではないのでしょうか？ 水は、変っても汚れない水になってはいけません。河の水が濁らないように、自分達の手で盛り、清く、美しいものにしていってほしいと思います。私達が、何も言わなくても、常に、河の水はきれいであるように。

新校舎の熱意とともに、カウンセラーの会員の活動を楽しみにしております。

御座のいじわるばあさんより

安藤 ヨタロウ

カウンセラーの皆さん、御岳キャンプどうもごくろうさまでした。

私、ヨタロウも、初めての御岳キャンプを経験し、最初(?)のうちは何がなんだかさっぱりわからず、皆んなに迷惑をかけたことと思います。

しかし、2週、3週と過ぎていくうちに、ある程度御岳キャンプの形態もわかってきたようで、慣れと、情性で流してしまったのではないかと自己反省しています。

学生時代のキャンプの中でよくこんなことを言われたものです。それは、「あまかも明日なきがごとく、充実した今日一日を過せ」というカウンセラーの格言でした。このことは、キャンプ生活だけにあてはまるのではないと思います。

す。毎日、毎日の生活すべてにあてはまるのではないでしょうか。

「私は(あなたは)充実した一日を過ごしたか」

キャンプの反省とは、少しばかりはずれてしまっただかもしれませんが、私は信じています。この積み重ねが、よりよいキャンプを創っていくのだと。

つづきましては-----

ダメオちゃん 御結婚 おめでとう

ダメオちゃん♡モナカちゃん
ある愛の詩

ダメオ氏からモナカちゃんへの愛の手紙

眠いのにもう打って書いているのでゴチャゴチャだな
何を書いて良いかわかん、来年3月だったろもう準備し
なくては金も貯めなきゃ、金はあまりない(全然ない)け
れど、モナカを幸せにしようとする気持ちは誰れにも負け
ない程、持ってるよ。ラブレターと言うのは苦手だ、書
いているだけでくすぐったい。来年の今頃はもう手遅れだね。
また9月に行くつもりだが、そんな時は、星空の下で歩し
ても良いから話したい。僕は非常にロマンティストなのだ。
それから9月の末どこへ行きたいか考えておけよ。上高
地、鈴鹿、北国、ネパール等々どこでも良いよ。



モナカちゃんからダメオ氏へ

モナカの想い

そういえば、初めて二人で鈴鹿の愛知川パーワンに行ったのは
ちょうど5年前の紅葉の季節でしたね。あの時はもみじの天ぷ
ろをしたりのりやくりゃ……ツンギスカンも食べたりしたっけね
5年前とちっとも変わらない二人だね……。

変わったことと言えば 単なる先輩、後輩という関係から新郎
新婦になろうとしている事かな……。

でも 私前よりもわがままになってしまったね。

自分でもよくわかっているの ごめんなさい。

ダメオさんのやさしさはわかりすぎるくらいわかっているのに……。
でもよく怒られるね この頃……。

私がしっかりしさえすれば けんかなんてしないのに……指切り
げんまんした後で、すぐまたけんかしちゃったり……。

いつだったか「モナカには 僕が一番いいんだ」って言葉が
に言っていた時の顔が目に残ります。 そんな時のダメオさんが
ても好き。

あと 何日かな？

指折り数えるまでになってしまったけど

何も考えないようにしているの……。

忙しさに溺れてしまいたいのに……。

そうでないと ダメオさんのところに付けなくなってしまう。

ふたりの 愛の誓い

いろんな事 考えてると

私たちの目の前に 大きな幸福が

どんどん 広がっていきような そんな気がする

手をのばせば さわれそうな

大きな幸福が ~~すぐ~~すぐそこで待っていてくれそうな

そんな気がする。

うれしいな-----。

そんな 甘いものではないかもしれないけど

二人だったろ 必ずかしい事でも

すぐ 出来そうな そんな気がする-----。

生涯 変わらぬ愛を ここに誓います。

だめ夫 もなか

昭和30年 11月2日(日)

いつまでも たえる事なく

幸せでいよう

明日の日を 夢みて

二人の道を

ダノオさん もなかさん お幸せに-----